

八王子市議会レポート

No.39 2009年4月18日



つくる、つくろう通信

陣内やすこ

八王子市議会議員・無所属市民派



北野台在住

編集／発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL <http://homepage3.nifty.com/jinnaiya/>

2009年度予算決まる！

税収が減る中での借金依存の大型予算、大丈夫？

● 予算井戸端会議 編 ●

Yさん：昨年秋以降の八王子の状況はどうなっているのですか？

（Y）：早急に緊急雇用対策本部を設置して、利子援助などに取り組んだのは評価できます。問い合わせ・相談がたくさん来ている状況です。予算としては、法人税が21億円の減収となっているのですが、個人市民税も大幅に落ち込むことが予想されます。

Nさん：保育園に子どもを預けて働く夫、夫の給料だけでは不安があるので、保育園の入園状況がかなり厳しい。

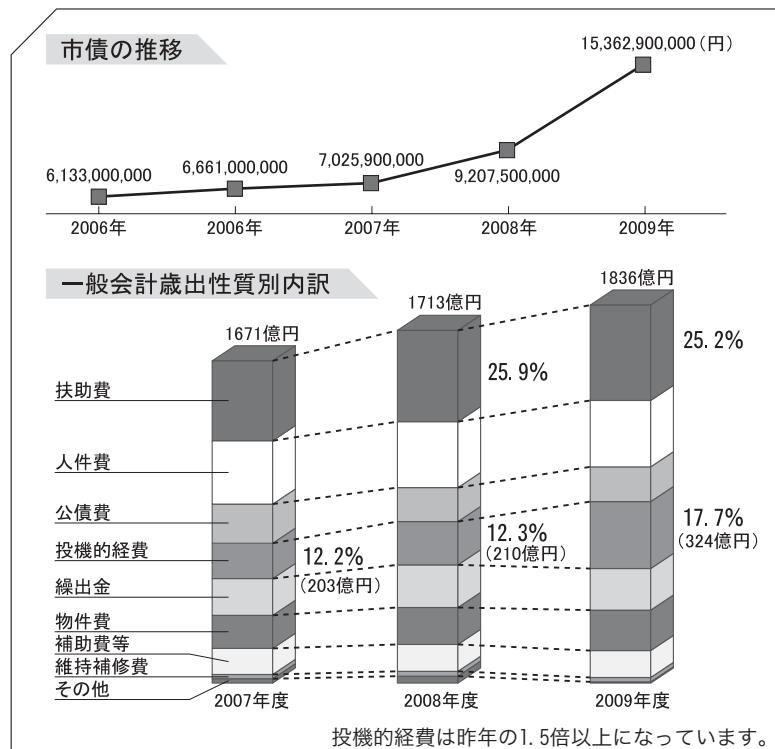
（N）：そうなんです。昨年4月の待機児童数は331人だったのですが、今年はそれを上回る予想。450人くらいとか。それなりに新園の開園もあるのですが、供給が需要に追いつかない状況です。特に、1歳児の入所が厳しいです。

Nさん：そんなことをいっても、保育園に入れなければ働けないわけで、いっぱいです、といわれても困ってしまう。しかも、認証保育園は保育料が所得比例でないので、我が家にとっては、たとえ月15,000円の補助があっても、4万円近くの保育料はかなり負担です。

（N）：民間の場合、保育士もなかなか集まらないという状況と聞いています。介護職員の待遇改善が叫ばれていますが、同様に保育士も長く働くような環境整備が必要ですね。

Iさん：いつから、この国は、働く人を大切にしない国になってしまったのでしょうか。

(2ページへ続く)



採決状況

陣内	自民党新政会(12)	公明党市議団(10)	共産党市議団(5)	民主自民無ク(4)	市民・民ク(3)	ネット・社(3)	諸派(1)
×	○	○	×	○	○	×	○



PRINTED WITH SOY INK

市民自治の会・議会レポート2009年春号

 : グローバル資本主義のなかで、低賃金・低コストが蔓延している結果といえます。働く人の3人にひとりは非正規労働者、若者といえば、2人にひとりという割合です。同一価値労働、同一賃金の原則が必要です。

Sさん : こんな八王子の状況がある一方で、JR八王子駅南口再開発に予算が取られていますね。

 : そうなんです。継続事業ということで、いったん走り出したら止まらない。本当に2007年1月、覚書を変更して工事着工したことが悔やまれます。国と都の負担額は約90億円(昨年度提示額よりアップ)、また市の負担は、駐輪場を含まない金額で約156億円(昨年度提示金額よりアップ)。しかも、工事を請け負っている業者の中に市の指名停止業者があって、その企業に約83億円あまりも支払われる。どう考えてもおかしいです。

政治倫理条例議員の会案 否決される!

昨年6月以降、超党派の議員13名で「議員の会」を結成し、条例案つくり、ニュース発行、市民集会と精力的に活動してきました。新聞掲載80回以上、傍聴者のべ411人と、大きな盛り上がりを見せた、政治倫理条例を制定する運動でしたが、2月16日の臨時議会、それに引き続く総務企画委員会で、最終的に議員の会提案の条例案は賛成14、反対22、退席3で否決されました。残念!!

専門家に「つくりました」というだけの条例案で30点、と酷評された自公案の主な問題点は以下の通りです。

- ① 親族企業と市との契約は自粛、届出なし。
- ② 対象親族範囲は配偶者と一親等だけ（兄弟姉妹含まれない）
- ③ 市の出資する外郭団体への規制がない
- ④ 企業・団体の役員報告規定なし
- ⑤ 議員の資産公開規定なし

これからもしっかりと、公職のあり方をチェックしていきます。詳しい経過は、議員の会ホームページをご覧下さい。

<http://seirin8.web.fc2.com>

八王子 政治倫理 検索 

市長・議員と親族企業 いま、公職のあり方が問われています

黒須隆一市長の実弟が社長を務める黒須建設㈱の公共工事受注額が多いことが明らかになり、市議会で議論が行なわれてきました。その模様は、右のように新聞各紙で報道され注目を集めてきました。

議員の会が提出した八王子市政治倫理条例案が、自民・公明両会派の主張で継続審査となる一方、自民・公明両会派が「対案」を提出し、2月16日に臨時議会が開催されることになりました。

いま、市長・議員という公職のあり方が問われています。
ごいっしょに考えてみませんか。



(議員の会ニュース11号より)

6月第2回定例議会日程 (任期後半の改選があります)

- 6月1日 第2回定例議会招集日
一般質問通告締め切り
- 2日 請願締め切り
- 3日 議会運営委員会
- 8日 本会議
- 9日～12日 一般質問（TV放映）
- 15日 本会議
- 16日 総務企画委員会・厚生委員会
- 17日 文教経済委員会・都市環境委員会
- 19日 会派代表者会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 本会議

議会改革の道のり

みなさん、「市議会たより」をごらんになりますか。年4回発行です。初めて選挙に当選して「市議会たより」に質問内容と名前が載ったとき、知人から、「いつも見ないので、あなたの名前があつたので、興味深く読んだよ」とのお声をいただきました。

議会の審議を身近なものと感じていただき、より市民参加を勧めていくツールとして、「市議会たより」は重要です。しかし、誰がどんなことを質問しているのか分からなくなっています。名前の掲載がなくなったからです。また、写真などが必要以上に大きいのではないか、との意見も出されています。市民にとって必要な情報を伝える「市議会たより」にしていくため、検討することになりました。「市議会たより」を読んだ感想やこんな情報がほしい、というご意見など、多くのお声をお寄せ下さい。

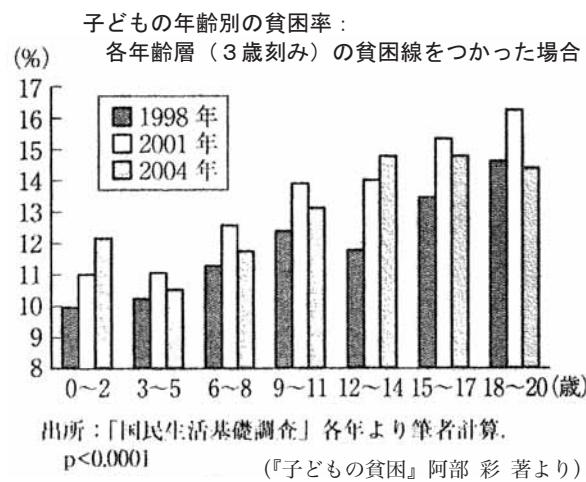
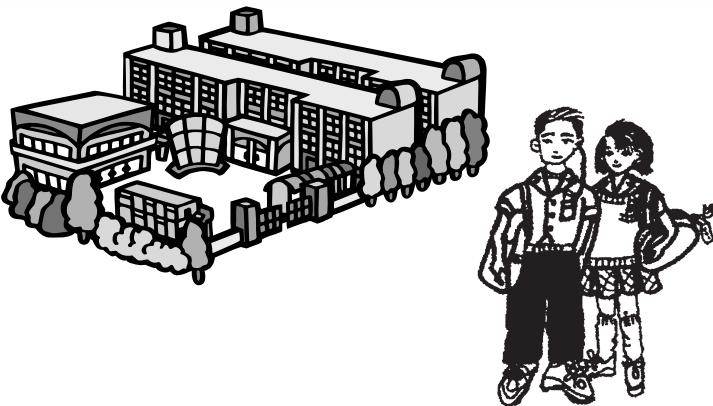
予算等特別委員会総括質疑より

教育費について質問しました。

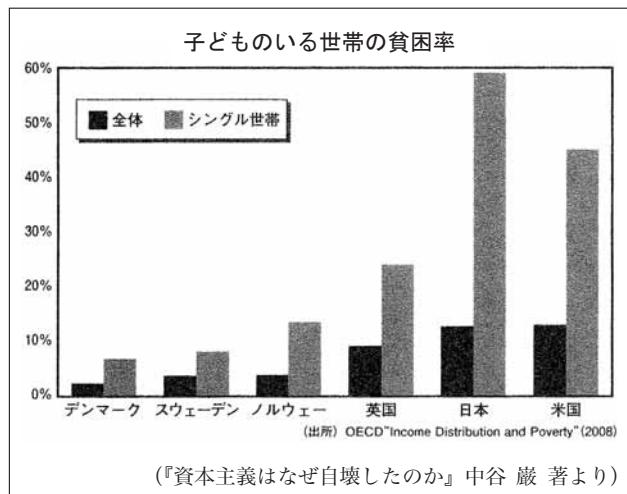
特に、「子どもの貧困」「子どものいる世帯の貧困」が大きな問題となっている今、貧困からの脱却は、教育のサポートがあればこそです。給食費や教材費など、学校教育にかかる費用の軽減と進学サポートを求めました。

また、特別支援教育に対しては、国で予算をつけているにもかかわらず、それが十分、市の予算に反映していない。学校耐震・改築が突出している教育予算に対し、「もっと人的補助」と訴えました。

教育長：いつも私は一番必要なのは、人的なことであると申し上げております。この気持ちは今もわかっていない。教育はハード部分よりもソフトの部分、このことのほうが大事で、なんとしても人をつけていただきたいという思いをいつも持っています。市長にも個別にお願いすることもありますし、東京都にも教育委員会を通じて、何としてでも人的な措置をお願いしたいということをこれまでやってきましたし、今後もやつていくつもりです。



- 0歳から2歳までと、12歳から14歳までの子ども間の貧困率が上昇。
- 12歳から14歳の児童、7人にひとりは貧困ライン以下。
- *貧困率とは、全勤労者所得の中央値の半分以下の所得の勤労者の割合



- シングル世帯の貧困率は60%近くになっている。世界でも飛びぬけて高い。

八王子小児病院はどうなる？

都議会で、八王子小児病院廃止をふくむ「東京都立病院条例の一部を改正する条例」が可決されてしまいました。移転は2010年3月なのですが、なんで、こんなに早くに、とガテンがいきません。また、市と都の交渉はほぼ最終局面で、跡地の払い下げ条件ということになっているのですが、果たしてどうでしょうか。

現在9床ある、新生児集中治療室(NICU)がゼロになります。中核病院に設置予定というのですが、その計画が具体的にすすんでいません。

ドクターカーは府中病院に2台、配備されるのですが、八王子専用ではありません。

新たな小児神経外来、重症心身障害児(者)通所事業、発達障害支援事業などは、2011年4月事業開始予定で、2010年4月から2011年3月までの1年間の空白ができてしまします。

小児入院ベッド数の増床を東海大学病院に依頼しているところとのことですですが、12床確保できるかどうかは未定。多摩地区はNICUの設置数が都内に比べてはるかに足りない状態です。町田市民病院では、6床のNICUを設置しました。やればできる。八王子の小児医療の後退をなんとしてもくい止めなければなりません。



Meeting(議会報告会)

4月26日(日) 10時～(於 南大沢文化会館会議室)

4月27日(月) 18時～(於 カフェケン)

お茶を飲みながら
八王子のアレ・コレ
を話しましょう。





近隣住民の方がこの計画を知ったのが、3月8日。突然のことには、みな、びっくり。子どもをもつ近隣住民の方を中心とした反対の署名が回ってきました。

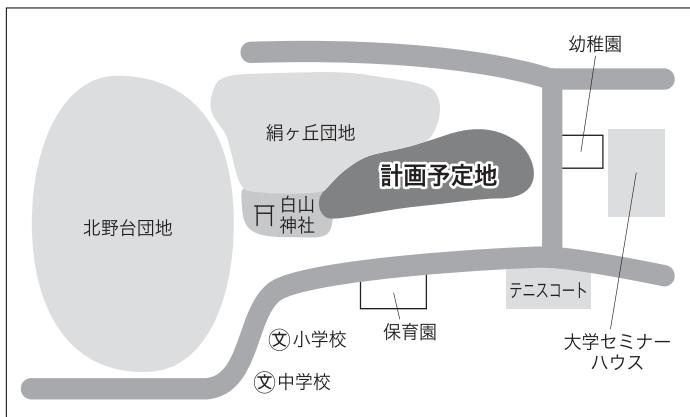
そして、青少年対策中山地区委員会も建設中止に向けて、署名活動や要望書の提出など、活動を始めています。

反対署名10,718人分が4月10日、市長あて要望書とともに提出されました。八王子には、八王子市青少年の健全な育成環境を守る条例があり、第4条で、事業者は、その営業について社会的責任を自覚し、青少年の健全な成長を阻害することのないよう努めなければならない、としてあります。また、「東京における自然保護と回復に関する条例」「宅地造成等規制法」に基づき、届出と知事の許可が必要です。市の開発指導課が窓口になります。この場所は、多摩丘陵自然公園内でもあります。こういった条例等に基づき、市の毅然とした態度が求められます。

青少年対策中山地区委員会として、①保育園・小学校・中学校がある文教地区で、通学路もあり、物的・人的・交通事情を含めて安全が確保できない ②住宅地にも隣接、今までの育成環境・自然環境を破壊する、などの理由で反対しているのですが、当然です。

子どもたちを育む自然豊かな環境をみんなで守っていきましょう。

*サバイバルゲームは、迷彩服を着て、エアガンで模擬弾（B B弾）を撃ち合うもの。



事業計画

名称	サバイバルゲームフィールド「トリガートーク」
面積	16,000m ²
駐車台数	20台～30台（探し中）
1日想定客数	約30人～40人
想定営業時間	9:00～18:00
内容	自然ふれあい広場、エアーソフトがんを使ったスポーツゲームフィールド エアーソフトガンの販売、レンタル
利用者	エアーガンを使用する場合18歳以上

(業者の説明資料より)



市・近隣住民への説明なしに稼働していたブルドーザー（現在休止中）

白山神社

東京新聞



毎日新聞

読売新聞



やすこのブログ日記から。

●国はさらに15兆円規模の補正予算を組む予定。大盤振舞いと新聞は言う。本当にそうだ。八王子の予算を見ても、身の丈を超えた大ふろしきのようだ。これらの借金は次世代への負債。罪作りなことだ。

●中谷巖氏著書の『資本主義はなぜ自壊したのか』

を読了。グローバル資本主義がなぜ、暴走するのか、を解説しているのですが、『いまごろ言わないでよ』との心境で読みました。もちろん、気がついて、警告を発しないより、数十倍良心的であることは確かですが…

その中の引用文ですが、ボランニという哲学者が、第2次世界大戦のおりに、資本主義社会において、商品にしてはならないものとして、『労働』『土地』『貨幣』をあげていたとのこと。

まさに、今の悲惨な現状は、貨幣が利潤を求めて一人歩きして、世界にサブプライムローンが証券化となって、ばら撒かれたことにあるのですから、すでに、60年も前に、警告は発せられていたのです。

